

- 農業分野や自然災害モニタリングなどの防災分野等の画像を、地球規模で、かつ、異次元の精度と頻度による付加価値を備えた情報として収集・活用するための超小型衛星共有ネットワークを構築。
- この画像データは日本発の標準化された高精度カメラにより取得され、この高精度カメラを搭載した超小型衛星の打ち上げ・運用をパートナー国との国際連携により実施（下図参照）。

超小型衛星共有ネットワーク構想におけるサービスイメージ

① 利用者は、スマホやPCから欲しい情報のリクエストを送る。

② サーバが最も早期に衛星を運用可能なセンターへ通知し、衛星運用センターが衛星に司令。

③ 衛星が世界最多のバンド数を持つカメラによる高精度ターゲットポインティング撮影を実施。

④ 衛星が最寄りの地上局にデータを送信。これに地上で取得された対象物のスペクトルライブラリを活用し付加価値を付けた情報として利用者に配信。

